

目 次

I 普及に移し得る成果

- 1 平置き無加温育苗法を併用した浮き楽栽培法による水稻育苗（栽培技術研究部） 1
- 2 大麦栽培における省力多収を可能とする硫安や尿素の全量 3 月上旬施肥技術（栽培技術研究部） 3
- 3 夏季栽培用わけぎ新品種「広島 12 号」と「広島 13 号」の品種登録（栽培技術研究部） 5
- 4 ブドウの光反射マルチ栽培・垂直枝配置栽培スタートガイドの作成（果樹研究部） 7
- 5 ブドウの光反射マルチ栽培・垂直枝配置栽培の経営試算（果樹研究部） 9

II 技術指導に参考となる成果

- 6 ネイキッド培地を利用したイチゴの育苗技術 - 実用化を目指して -（栽培技術研究部） 11
- 7 水稻奨励品種の原種生産（管理課・栽培技術研究部） 13
- 8 早期田植えおよび砂壌土での水稻除草剤の効果（栽培技術研究部） 15
- 9 日の入りからの短時間冷房はバラの形質を向上する（栽培技術研究部） 17
- 10 大規模水耕栽培によるトルコギキョウの周年安定生産に向けた完全閉鎖系育苗（栽培技術研究部） 19
- 11 全日本花卉品種審査会の概要 -トルコギキョウ-（栽培技術研究部） 21
- 12 夏どり白ネギ多収のための土壌改善効果の実証（生産環境研究部） 23
- 13 水耕栽培におけるかき殻由来の有機酸カルシウムの効果判定（生産環境研究部） 25
- 14 トマトの品種別かいよう病耐病性（栽培技術研究部・生産環境研究部） 27

III 開発中の主要技術の紹介

- 15 アスパラガスの圃場づくりをベースとした安定多収技術の開発（栽培技術研究部） 29
- 16 夏秋トマト有望品種「りんか 409」の増収を目指した施肥量と着果数（栽培技術研究部） 31